

第15回 中央通り再編関係者調整会議 会議録

■ 日時 令和7年8月29日（金） 14時30分から16時30分

■ 場所 四日市商工会議所 3階 大会議室

■ 出席者

（有識者）

有賀隆座長

松本幸正委員

（交通関係者）

樋口竜也氏（代理）（Web 会議にて出席）、平井崇士氏（Web 会議にて出席）、増田浩士氏、三輪直樹氏、内山宜哉氏、青木周二氏、須藤康夫氏

（市民・商工関係者・大規模利権者）

山路和良氏、橋本勝文氏、北岡泰爾氏、秋田和伸氏（代理）、佐野貴信氏、鈴木主計氏、切中義憲氏、吉田健氏（Web 会議にて出席）、山本龍太郎氏（代理）

（行政）

土生聖一氏（代理）、大吉雄人氏、上田雅章氏（代理）（Web 会議にて出席）、荒木秀訓氏

（オブザーバー）

三重県警察本部交通部交通規制課 課長補佐 川村知広氏（代理）（Web 会議にて出席）

国土交通省都市局街路交通施設課 街路交通施設安全対策官 高濱康亘氏

国土交通省中部地方整備局建政部都市整備課 都市整備課長 後藤直紀氏（Web 会議にて出席）

国土交通省中部地方整備局道路部道路計画課 道路計画課長 松尾賢二氏（代理）（Web 会議にて出席）

国土交通省中部運輸局交通政策部交通企画課 交通企画課専門官 田中秀和氏（代理）（Web 会議にて出席）

国土交通省中部運輸局三重運輸支局 局長 小中太氏

■ 議事

1. 第14回中央通り再編関係者調整会議の振り返り
2. 関係者との協議・調整に伴う対応
3. 工事の進捗と周辺の開発動向
4. 整備後の運営に向けた取り組み
5. デザインワーキンググループの報告【報告事項】
6. 近鉄四日市駅バスターミナル検討部会の報告【報告事項】
7. 今後の進め方

■ 内容

<座長>

本日はよろしくお願いいたします。前回の関係者調整会議を今年1月に開催してから、半年以上が経過しました。その間、円形デッキは完成に大きく近づき、駅前の空間が大きく変わるとともに、近鉄四日市駅東側の中央通りの整備が進むなど、他都市で類を見ないような大規模な整備が複数同時に進行しております。市民の皆さんが日常的に利用している空間で整備工事が並行して行われていることもあって、市民の方々はまちの変化を、日々実感されていることと思います。今後、中央通りの車線切り替えという大きな節目がございますが、安全かつスムーズに進むことを祈念したいと思います。

本調整会議の中では、決めていく必要のあること、ご了承を頂く事項が多くありますが、是非、忌憚のないご意見を頂きたいと思っております。よろしくお願いいたします。

【1. 第14回中央通り再編関係者調整会議の振り返り、関係者との協議・調整に伴う対応、工事の進捗と周辺の開発動向、整備後の運営に向けた取り組み】

事務局から資料説明が行われた後、各構成員より質問・意見等をうかがった。

<座長>

ご説明ありがとうございます。それではご意見・ご質問がございましたら、よろしくお願いいたします。

<A氏>

以前の会議でも指摘させていただきましたが、夜間、近鉄の高架下が暗いことが気になります。また、高架下の交番も現在は運用されていないと認識しており、治安面での不安があります。防犯カメラの設置も含めて、どのように考えていますでしょうか。

<事務局>

中央通りの道路整備の中で、道路照明の整備も進めています。完成した区間をご覧くださいと、十分な明るさを確保していることがお分かりいただけるかと思っております。近鉄の高架下は現時点ではまだその整備段階に達していませんので、他の箇所よりも暗い状態となっておりますが、道路整備が完成した際には十分な明るさが確保されるということでご理解いただけますと幸いです。

カメラについては、円形デッキに監視カメラの設置を予定しています。また、現在、あすなろう四日市駅の南側に警察が設置している防犯カメラがありますが、そちらも駅前広場の整備後に再設置する予定です。

高架下の交番は、人は常駐していませんが電話が設置されており、緊急時には諏訪交番に連絡がつながるようになっています。今後も同様の機能を維持していくと近鉄・警察から伺っています。

<A氏>

バスタの中にもカメラは設置されるのでしょうか。

<事務局>

バスタ内については国交省と調整しているところですが、カメラを設置する予定です。

<A氏>

カメラを設置していること自体が犯罪の抑止力になると思いますので、適切に設置していただきたいと思っております。

<B氏>

中央通りに自転車道が整備されることで、自転車利用の需要が増えると予想されます。より広域で自転車の走りやすい環境ができるとよいと思いますが、四日市市では自転車活用推進計画や自転車ネットワーク計画などは策定されているのでしょうか。

<事務局>

四日市市では平成24年度に自転車ネットワーク計画を策定し、利用者の多い鉄道駅を中心とする自転車ネットワーク形成の考え方を記載しております。自転車活用推進計画は現時点では策定して

おりません。

<B氏>

自転車ネットワーク計画は策定からしばらく年数が経過していますが、中央通りの整備を反映した計画の更新は行わないのでしょうか。また、この機会に自転車活用推進計画を策定してはいかがでしょうか。これらの更新・策定には県や国との連携が必要になりますので、この場で回答いただくことは難しいと思いますが、是非、前向きに検討いただければと思います。

<B氏>

近年、気候変動による大雨で、地下空間の浸水が世界的に問題になっています。中央通りの地下駐車場については、雨水の流入対策はなされているのでしょうか。

<事務局>

現在の地下駐車場への車路は、入り口部分を周辺の道路よりも高くして雨水が流入しないようになっています。今回の整備では同様の雨水流入対策が難しい箇所がありますが、そのような箇所では地下駐車場の入口に2本の横断側溝を設け、2つの排水経路を確保する2段構えの計画としています。

また、中央通り全体としても、大雨等へ対応として雨水排水能力を高めるべく、雨水増強管整備を行っている状況です。

<B氏>

最後のニワミチ JOYnt Park Days のような取り組みがとても良いと感じました。市民の方々を中心に公共空間を使う文化が出来るのが大切だと思っています。ぜひこのような取り組みを続けていただきたいのですが、これからも継続していくお考えでしょうか。

<事務局>

「ニワミチよっかいち」利活用戦略に記載しております通り、中央通りをはじめとする公共空間の活用を進めるために、関係者で（仮）ニワミチよっかいちまちづくりパートナーズを組成して運用していく計画としており、そのパートナーズの組成に向けた社会実験を行っている段階でもあります。

現在は、将来的に公共空間を使っただくプレイヤーの発掘、利活用を行うにあたっての負担やコストの把握、利活用を通してどのようにマネタイズできるかの将来像を検討していくこと、という3点を主な目的としています。今後は、これまで同様の社会実験を続けていくというよりは、将来的にパートナーズに運営主体が移行していくことを目指しながら今後も取り組みを継続していくと考えています。

<B氏>

ありがとうございます。季節が異なるタイミングでも開催していただければと思います。ぜひ続けてください。

<C氏>

我々としては、バスタエリアの活用については検討を進めてまいりたいと思っております。ただ、ニワミチ全体に拡大していかなければ効果が無いわけですが、社会実験のミーティングにも出席させていただくと、かなり準備など大変で、組織みたいなものを市としても準備していただくなど実行部隊をどのように作っていくのかは課題だと思います。パートナーズはバスタエリアしか手が出ないため、広げていくための工夫を考えていただきたいと思います。

<事務局>

行政として空間を整備し、まちを作っていく、民間としてその空間を活用しながら、まちの賑わいを作っていく、この2つの視点で官民が互いにできることを持ち寄りながら、ひとつのパートナーズとして推進していきたいと思っております。市としても各部局と連携してやっておりますので、引き続きしっかり進めてまいりたいと思っております。

【2. デザインワーキンググループの報告】

事務局から資料説明・動画上映が行われた後、各構成員より質問・意見等をうかがった。

<座長>

ご説明ありがとうございます。それではご意見・ご質問がございましたら、お願いいたします。

<D氏>

円形デッキの試験点灯で演出照明を拝見しまして、とてもきれいだと思いました。この円形デッキは中央通りのシンボルチックなものになると思いますので、例えば、市民個人または団体からオリジナルで光の演出ができる参加型の演出を公募するというのはいかがでしょうか。

<事務局>

非常に面白いアイデアを頂きありがとうございます。まず、技術的には、新たにプログラムを組むことで、オリジナルの演出を行うことは可能です。もちろん新たなプログラムを組むためにはコストもかかりますし、実際の運用上、どのような形であれば実現可能かという課題はありますが、アイデアとして検討させていただきたいと思います。

<D氏>

例えば、インスタグラム等で記念日に演出ができることを情報発信することは注目を浴びますし、拡散力もあると思いますので、ぜひご検討をよろしくお願いします。

<A氏>

円弧デッキからは、円形デッキに直接行くことができるのでしょうか。

<事務局>

近鉄四日市駅の東側の円形デッキと、駅の西側の円弧デッキは、直接接続するわけではありませんが、駅を基点として歩行者動線がつながる計画としております。

【3. 近鉄四日市駅バスターミナル検討部会の報告】

三重河川国道事務所から資料説明が行われた後、各構成員より質問・意見等をうかがった。

<座長>

ご説明ありがとうございます。それではご意見・ご質問がございましたら、お願いいたします。

<E氏>

東海道広場として整備される箇所に隣接する施設について、是非、四日市の文化や歴史を市民や来街者の方が知ることができる施設としていただきたいと思います。東海道沿いの全国各所に東海道交流センターのような施設が作られていますが、四日市にはそのような施設がありません。市民や旅行者が楽しめる文化的な交流施設を整備いただけるとありがたいと思います。

また、防災の観点からも、市民の避難場所としても利用できる施設になるとよいのではないのでしょうか。

<事務局>

バスタ内の施設としては飲食店等を想定しており、その収益をバスタの維持管理費用に充てていくこととなります。施設の内容については、運営事業者が検討することとなりますので、おっしゃっていただいたような観光施設とするのは難しいのではないかと考えていますが、バスタ内に整備するデジタルサイネージでは観光情報の発信を行う予定であり、そちらで四日市の歴史や文化に関わる内容を発信することは可能だと考えています。

防災について、バスタは長期間の避難施設というよりも地域防災計画でいうところの一時的な滞在施設として捉えています。バスタの機能としては、近隣の避難所へのスムーズな誘導を行うという点も重視して防災対策を進めていきたいと思っています。

<事務局>

少し補足をさせていただきます。まず、東海道にまつわるものを整備の中に盛り込んでほしいということはかねてより市民のみなさまからご要望を頂いております。運営事業者を公募する際にも、東海道広場の横の収益施設には歴史情報等を紹介するという公募となっています。先ほどご紹介させていただいた社会実験のように官民連携でこの中央通り全体を盛り上げていくという中で、歴史の紹介等については、これを運営していくバスタ四日市パートナーズとなりますが、市も連携を取りながらできることを考えていきたいと思っておりますので、その際にはご助言を頂けると幸いです。

<C氏>

E氏が発言したような主旨につきましては、バスタ四日市パートナーズが国交省へ提案をする際に、そのような利活用をしたいということで提案をさせていただきました。今後、収益施設のテナントを募集していく中で、東海道広場と一体となったような施設として収益事業を展開していただくテナントをぜひ募集していきたいと考えています。

<座長>

東海道の諏訪神社前の表参道にも東海道の歴史を分かりやすく伝えるような取り組みをされていますので、東海道から風景や景観がつながるような、地域の方々とうまく連携できるような使い方や設えができると、まちとの接続が見た目でも分かりやすくなると思われました。先ほどC氏からもありましたが、竣工後の利活用、管理運営での工夫もコラボレーションとして進めていただければと思います。

【4. 今後の進め方】

事務局から資料説明が行われた後、各構成員より質問・意見等をうかがった。

<事務局>

今後の中央通り再編関係者調整会議について、第16回の会議は来年1月頃、第17回の会議は3月頃を予定しております。詳細日時は改めて調整させていただきます。

【5. 全体を通して】

会議全体を通して、各構成員より質問・意見等をうかがった。

<F氏>

中央通りの再編の工事の中で、近鉄の施設に近接しての工事箇所が多く出てくるかと思えます。当社としましてもできる限り協力させていただきますので、今後ともよろしく願いいたします。

<G氏>

近鉄四日市駅付近の整備が先行して進んでいますが、今後、JR 四日市駅の周辺の工事も計画が進んでいきます。現在、近鉄四日市駅側を中心に賑わいが広がっていますが、JR 四日市駅側にも賑わいがつながってくるように、我々も協力して進めていきたいと考えております。今後ともよろしく願いいたします。

<H氏>

7月にバス待機場の運用が開始しまして、また10月には車線切り替えと続いています。これまでもバスの運用について相談をさせていただいておりますが、引き続きご相談をさせていただければと思います。我々の立場としてましては、安全運行を第一に運行してまいりますので、よろしく願いいたします。

<I氏>

我々も安全第一で進めていきたいと思えます。バスタ入口交差点付近で自転車動線が途中から押し歩きになる箇所がありますが、実際、自転車を押し歩くのかというのは非常に交通安全上の不安もございします。交通事業者としましては、そういった点の安全も慎重に考えていただければと思

ます。よろしくお願いいたします。

<J氏>

バスと同様にタクシーの運用についても、いずれの場面におかれましても安全が担保されていることを意識しながらこれらも進めていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

<K氏>

資料4の p. 10の内容ですが、近鉄四日市駅構内から連絡通路への出入口に向かう階段が描かれています。こちらはバリアフリーの動線として昇降機も併設されるのでしょうか。

<事務局>

資料内のイメージパースでは柱に隠れてしまっていますが、階段の横にスロープが併設され、バリアフリーの動線を確保していきます。

<L氏>

中央通りの再編とともに、周辺の民間投資も進んでいるというお話もありました。駅前のデッキ、バスタ、その周辺の事業がスケジュールに遅れずに一体となって供用開始となることが望ましいと思いますので、予算取りも含めしっかり進めていただきたいと思います。

<M氏>

バスタ西島と東島の間、バスの入り口と駐車場の入り口がございますが、そこに歩道が通ってきます。大変危険な状況になると思っているため、適切な安全対策を講じていただけますよう、よろしくお願いいたします。

<N氏>

これから車線切り替えという大きな工事が出てくると思いますが、仮設の期間中もわかりやすい看板を設置するなど、なるべく利便性を確保するようにしていただければと思います。よろしくお願いいたします。

<O氏>

本日説明いただいたように、近鉄不動産ではデッキとの連絡通路の計画がございます。四日市市と協力しながら進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

<P氏>

中央通りの新しい姿も徐々にみえてきたところですが、地元の通信・メディアの会社として、さまざまなサポートができると思います。また、新しい技術で解決できる課題などもあると思いますので、引き続きよろしくお願いいたします。

<Q氏>

冒頭の方で議論をいただいた高架下の警備、派出所の関係でございますが、警察本部とも検討しており、治安維持対策については引き続き検討していきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

<R氏>

10月に車線切り替えが行われ、本格的にバスタの工事に入っていきます。まだ課題が残されている部分もございますので、国交省だけではなく四日市市や警察とも連携しながら進めていく必要があります。今後、バスタ部会やデザインWGで決めていかなければいけない部分もございますので、皆様にもご協力をお願いしたいと思います。

<S氏>

円形デッキをはじめ、どんどん形になってきている段階だと思います。引き続き協力していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

<T氏>

本日はありがとうございます。市の事業だけでなく、バスタ事業とも連携しながら頑張っ取り組んでいきたいと思ひます。引き続き、皆様からのご支援、ご協力の程よろしくお願ひいたします。

<U氏>

安全について本日ご指摘をいただきましたが、関係部会で安全の確保へ向け検討を進めていきたいと思ひます。関係者の皆様のご協力をお願ひします。

<V氏>

会議前に現場を見させていただきました。駅西側の先行整備区間に非常に良い空間ができつつあり、駅東でも円形デッキが出来てきていて市民の方も期待感が高まっている段階かと思ひますので、このような段階で関わらせていただひて嬉しく思ひます。

本日の説明にありましたように、中央通りの再編によって、民間投資や土地価格の上昇といったウォークアブル事業の成果が表れてきています。これから、期待感を高める発信をすることや、次の投資に繋げるアピールをしていくことが重要なフェーズになっていると感じました。

本日、初めて四日市市に來ましたが、中央通りの再編事業を抜きにしても、商店街や港があり、非常に活気のある街だと思ひました。さらに、本日の会議も、これだけ多くの関係者が非常に密度感の高い議論をしていること自体、他の街でもなかなか見られないことだと思ひます。

引き続き、支援させていただきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

<W氏>

ご説明いただいた「周辺の開発動向」の中で、ホテルが多く立地しているという話がありましたが、オフィスの立地が進んでいることも非常にポジティブなことだと思ひます。これから立地してくる企業で、まちづくりに関心のある企業に関わってもらいながら、イノベーターな環境づくりを進めていけると非常に良いのかなと思ひます。

<X氏>

少し前に現場を見させていただきました。円形デッキの試験点灯も行われ、いよいよ進んできたという実感が湧いているところだと思ひます。三重河川国道事務所とも連携しながら、二人三脚で取り組んでいきますので、引き続きよろしくお願ひいたします。

<Y氏>

これから車線の切り替えがあるということで、まずは安全の確保と、利用者の方の混乱がないように進めていただければと思ひます。よろしくお願ひいたします。

<Z氏>

車線の切り替えに伴って仮のバス停が運用されますが、初めて利用される方に対してもバス停が分かりやすいようにしていただければと思ひます。よろしくお願ひいたします。

<B氏>

V氏からもご発言いただいたように、工事も進んでデッキや道路の形が見えてきている中で市民の期待も高まってきていると思ひます。

いよいよ次の段階だと思ひておひまして、バスタに関してはこれをきっかけにバスの利用を増やしていくために、情報提供を分かりやすくしたり、バスサービスを向上させていくことが重要だと思ひています。さらには、まちの中心部に多くの方が賑わうことになりまますので、その時に、市民の方々が車ではなくバスや自転車で来ていただくための方策を考えていく段階に來ています。今後、皆さんと一緒に進めてまいりたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

<座長>

近鉄とJRという2つの鉄道駅の間に立地している四日市のまちなかに、バスタ、中央通り公園という大きな公共投資によって新しい空間が生まれることを契機として、それが中心市街地やまち全体の新しい働き方や住まい方を想起させるような仕組みを作っていくことが大事だと思ひます。

そのためには、まち側も変わっていく、変えていく必要が出てきます。例えば、中央通りの沿線はまとまった建築、床面積のオフィスビルも多いですが、まちなかに入っていくと、非常に小さな建物が広がっています。そういうところの1、2階部分、または未利用、低利用となっているところをどのように元気にしていくかという時には、従来の賃貸の在り方の延長ではイノベーティブな利用は生まれないと思います。中央通り再編を契機にまち側の変化を仕掛けていくために、様々なパートナーズ、エリアマネジメント組織、中央通り公園の組織が横ぐしを刺して連携しながら工夫を重ねていくことになるだろうと思います。今回の会議での皆さんのご発言を聞いて、これからのまちの運営が大切だと強く感じました。引き続き、地元の皆様もご協力いただきながら、関係の事業者様には安全にスムーズに進めていただきながら、目前に迫っている車道切り替え含め、進めていただければと思います。これで議事としては以上となります。事務局にお返しします。

<事務局>

本日は長時間にわたり、ありがとうございます。委員・関係者の皆様におかれましては活発な意見交換をいただき、ありがとうございました。次回第16回の会議の開催時期につきましては、改めて調整させていただきます。

最後に、円形デッキの愛称募集の案内を配布しております。どなたでもご応募いただけますので、是非ご応募ください。

以上をもちまして、本日の会議を終了させていただきます。皆様誠にありがとうございました。

—以上—